

地域の施設を拠点に、多世代、多種目、多志向のスポーツを行う総合型地域スポーツクラブ。NPO法人新町スポーツクラブは地元のスポーツ少年団を核に、2000年に県内初の総合型地域スポーツクラブとして発足した。子どもの運動不足が指摘され、部活動のあり方が問い合わせられる中、スポーツの本来の楽しさを伝えようとしている。

全力で楽しむ指導を

N P O 法 人 新 町
ス ポーツ クラブ 理事長 小出 利一 氏



子どもたちは個々に運動能力が異なるが、スポーツを楽しむ権利はみんなが

持つてゐる。子ども時代にいろいろな体験をして、自発的に「これが好きだ」「

ラブは多種目なので、選ぶことができる。クラブの子どもが、中学で文化部に入つてもかまわない。ただ、ここで学んだ体を動かす楽しさや、全力で取り組む楽しさを忘れないでほしい。

らない少年団の理念だ。日本人はスポーツをする楽しさを勘違いしている。勝ち負けだけではない。全力でやれば楽しい、ふざければ楽しくない。クラブは子どもたちがそれを学べる場所でありたい。



スポーツ 皆が主役に



新町一小体育馆

20代の頃は今なら問題となるような指導をしていました。グラウンドに正座もさせたし、大声で怒鳴りもしました。当時はそれが指導することだと感じていた。その結果、小学生の時はトップレベルの成績だった子どもがあつちが痛い、こつちが痛いと、高校の部活では活躍できなくなってしまってました。僕らが指導した小学生時代の後遺症だった。

子どもは頭が良い。こうすれば怒られないと考えて行動する。本当の意味で僕

*小学4年から新町
スポーツ少年団に所属。
高校生の頃から教
える側だったが、指導
した子どもに身体の使
いすぎでどこかを痛め
るスポーツ障害がある
と知り、一時期現場か
ら離れた。

1面から続く

本当の意味でのスポーツの良さが伝わりきつていなければ日本スポーツの現状だ。日本でいう「スポーツ」は英語の複数形で、種目の集まりとして捉えている。本来の「スポーツ」は単数形で体を動かすことそのものを表す。

ヨーロッパのスポーツは全て遊びに由来する。楽しく遊ぶ。楽しむために自由に動く。動くことは遊ぶこ

- 1 -



いで・としかず
58年、高崎市生
。2013年、文部科
の生涯スポーツ
者表彰。県総合
域スポーツクラ
ーク連絡協議会長。同
住。60歳

けではないのに、指示通りに動く子どもを見て、自分の指導がうまいからだと勘違いしていた。今までの経験は僕にとってゼロになるどころか、マイナスになってしまった。

どうすればいいのか考え直し、少年団の国際交流や研修事業で見たドイツの指導を思い出した。大人は口を出さないけれど、子どもは自主的に動く。そして生

かない。この違いはなんだ。

とショックを受けた。

いろいろなスポーツに挑戦でき、地域貢献活動にもトライアルできる団体にしました。

A photograph showing two young boys in a gymnasium. The boy on the left is in the foreground, wearing a white t-shirt and blue shorts, and is actively playing with a green hula hoop. The boy on the right is partially visible in the background, wearing a grey t-shirt with a blue star pattern and black shorts. They appear to be in a school setting, possibly during a break or a physical education class.

A young boy in a white long-sleeved shirt and blue shorts is playing with a hula hoop in a gymnasium. He is in the foreground, facing right, with his arms extended to hold the hula hoop. In the background, another person's arm and hand are visible, also holding a hula hoop. The gymnasium has wooden paneling on the walls and a polished wooden floor.

A group of children are playing with hula hoops in a gymnasium. In the foreground, a child in a red shirt is partially visible. In the center, a child in a blue shirt is spinning a yellow hula hoop. To the right, two children are interacting with a stack of blue and white hula hoops. The background shows wooden gymnasium walls and a window.

A photograph showing a young girl in a white shirt and red shorts standing on a wooden floor, looking towards the right. In the foreground, the back of a person wearing a red polo shirt is visible. The background shows other children playing in a gymnasium.

上で勝敗ももちろん大事だが、このクラブでは勝ち負けをクラブ内にとどめてい。対外試合の補欠のように、試合に出ているのか分からぬ子どもはつくらな。みんなが主役だ。

体幹を中心に満遍なく体を鍛えて、さまざまな運動に対応できる子どもを育てる。小学生のときに全身を使つて過ごせば、中高生になつても体を壊さず活躍でき。そういう子どもはスポーツの楽しさを知つているから大人になつてもスポーツをしに戻つてくる。

「この種目をやりたい」と子ども自身が選んだならば、その意見を尊重する。自分で選択したからこそ、